

ふりがな おやま だいすけ

氏名 尾山 大輔

1. 学歴

1998年 3月 東京大学教養学部教養学科卒業

2003年 3月 東京大学大学院経済学研究科博士課程修了・博士 (経済学)

2. 職歴・研究歴

2003年 4月 東京大学経済学研究科・日本学術振興会特別研究員 PD (2006年 3月まで)

2006年 4月 一橋大学経済学研究科・講師

3. 学内教育活動

A. 担当講義名

(a) 学部学生向け

基礎ミクロ経済学

(b) 大学院

中級ミクロ経済学, 理論経済学 II

C. 講義およびゼミナールの指導方針

学生の自主性を重視する。

4. 主な研究テーマ

ゲーム理論, 経済理論

5. 研究活動

A. 業績

(b) 論文 (査読つき論文には*)

* " p -Dominance and Equilibrium Selection under Perfect Foresight Dynamics," *Journal of Economic Theory* 107 (2002), 288-310.

* "A Model of a Spatial Economy with Trading Posts" (with Munetomo Ando), *Economics Bulletin* 18 (2002), No.1, 1-11.

* "Booms and Slumps in a Game of Sequential Investment with the Changing Fundamentals," *Japanese Economic Review* 55 (2004), 311-320.

* "Rationalizable Foresight Dynamics" (with A. Matsui), *Games and Economic Behavior* 56 (2006), 299-322.

(c) 翻訳

I. ギルボア・D. シュマイドラー

『決め方の科学 事例ベース意思決定理論』(浅野貴央氏, 松井彰彦氏と共訳), 勁草書房, 2005年。

(d) その他

「社会ゲームの理論：最適反応動学と完全予見動学」(松井彰彦氏と共著), 今井晴雄・岡田章編『ゲーム理論の新展開』勁草書房, 2002年。

B. 最近の研究活動

(a) 国内外学会発表

<http://www.econ.hit-u.ac.jp/~oyama/presentations.html> 参照.